Innovation in Motion TSUBAKI

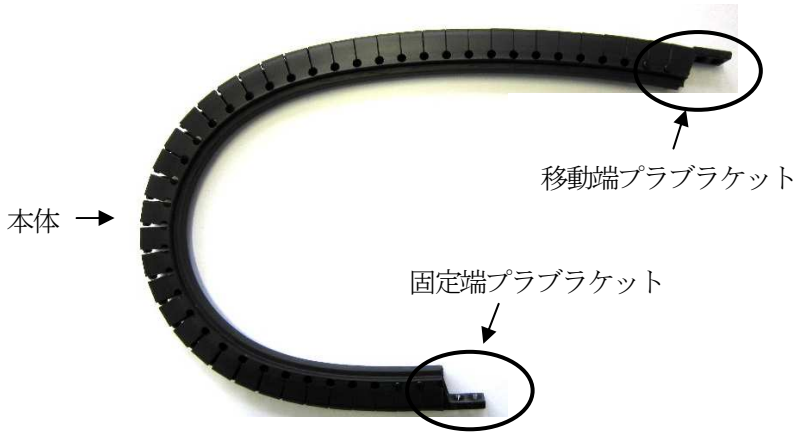
つばき　取扱説明書

ケーブルベヤ®

TKZP 形

（注）作業の際には適切な保護具（安全眼鏡、手袋、安全靴など）を着用してください。

1 構造・名称



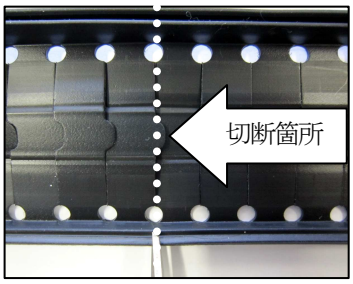
2 納入状態

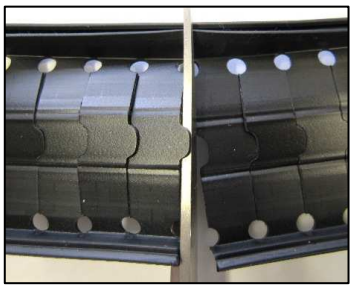
・ １箱（１０ｍ Ｘ １本）で納入いたします。
　移動端プラブラケット、固定端プラブラケットは、通常、部品にて納入します。

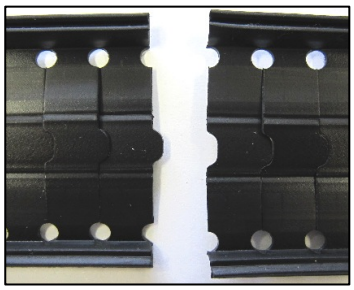
3 切　断

※継足すことはできませんので、ご注意ください。

・ 通常、納入時にはシート状になっていますので、必要な長さ（10㎜ ピッチ毎）を測り、
　はさみ等で切断して使用ください。



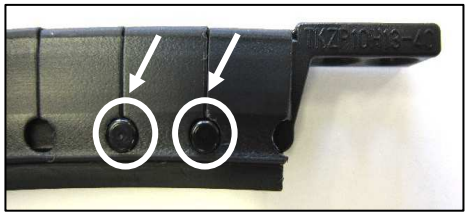




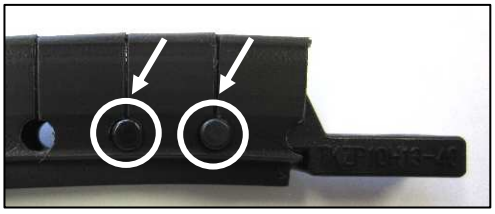
5 プラブラケットの取付け

・ **ジップ部をあけた状態で**プラブラケットの突起を本体の丸穴２箇所にはめ込み（片側２箇所）、ジップ部を完全に閉じます。

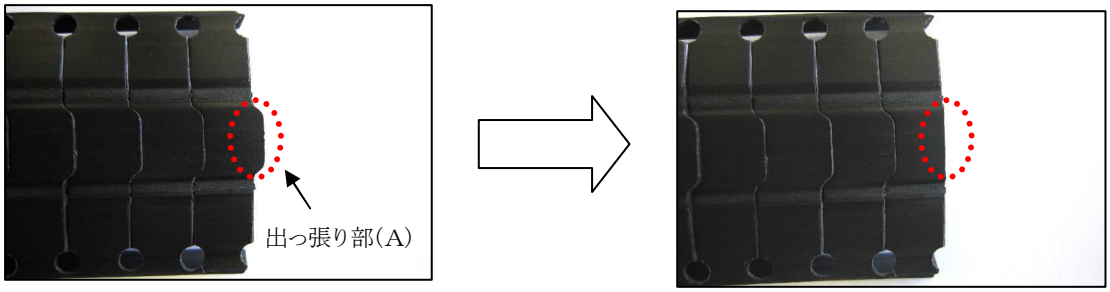
＜外周側取付け（ＦＯ・MO）の場合＞



＜内周側取付け（ＦＩ・ＭＩ）の場合＞

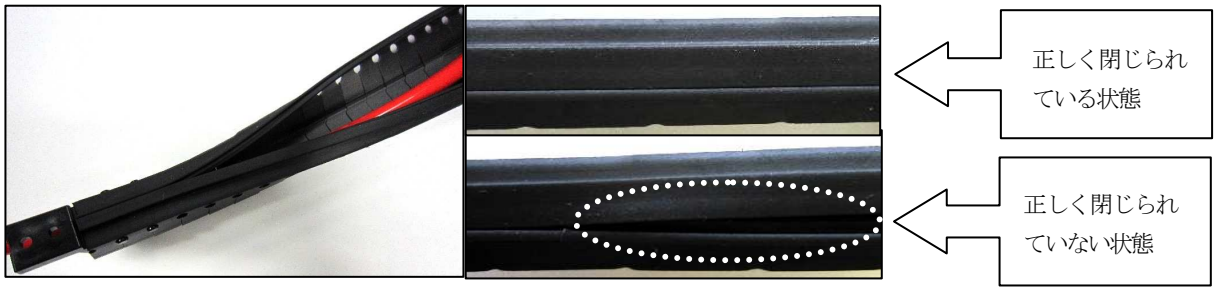


※　移動端が外周側取付け（MO）の場合は、本体の出っ張り部（A）を切り落としてください。（下図参照）



4 ジップ部を閉める

※　ジップ部が確実に閉じられていることを、必ず確認してください。
※　ジップ部が正しく閉じられていないと稼働中にジップ部が開くことがあります。



6 取扱上の留意点

- 稼働前に、ケーブルベヤ本体のジップ部が確実に閉じられていることを確認してください。
- 収納するケーブル・ホースは柔軟性に富み、繰り返し屈曲性・耐久性に優れた移動用を使用してください。
- 特に、複数本のケーブル・ホースを収納する場合には、耐摩耗性に優れたケーブル・ホースを使用してください。
- ケーブル・ホースはねじれのないように配線してください。ドラムやコイルからスパイラル上に引き出すと、ケーブル・ホースがねじれた状態で配線されますので、行わないでください。
- ケーブル・ホースは直線状態でケーブルベヤ内に入るようにしてください。
- ケーブル・ホースに不要な張力が作用しないように、ケーブルベヤ内での長さを保つために、移動端および固定端部で固定（クランプ）してください。
- 収納するケーブル・ホースの曲がりくせ等の影響で、ケーブルベヤに倒れや蛇行が生じる場合があります。必ずガイドレールを施工ください。

◎プラブラケットの取付面に凹凸があると、ブラケットが破損する場合もありますので、なるべく滑らかな平面に取付け願います。また、プラブラケットの取付ボルトを締めすぎると破損する場合もありますので下記推奨締付トルクにて締付け願います。

ボルトサイズ	推奨締付トルク
M3	0.3 N･m

2013 年 2 月 20 日発行 ©株式会社　椿本チエイン